



チーム文花中 だより

墨田区立文花中学校

令和8年4月13日(月)

〒131-0044 墨田区文花1-22-7

TEL: 03-3617-0264・0265

<https://www.sumida.ed.jp/bunkachu/>

チーム文花中 令和8年度 スタート ご入学・ご進級おめでとうございます



校長 遠藤 博則

文花中学校で勤務させていただき3年目になりました。校長の遠藤博則と申します。今年度も生徒の皆さんのよりよい学びを実現すべく尽力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様にご理解・ご協力いただき、共にチーム文花中としてお子様の成長を支えていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月6日の始業式での最上級生・先輩に進級した頼もしい姿、4月9日の入学式での真新しい標準服に袖を通した初々しい姿を見ることができました。お子様のご入学、ご進級を心よりお祝い申し上げます。また、このような生徒の皆さんの姿を見て、チーム文花中として共に創り上げる新しい学びへの期待と責任の重さを改めて感じました。今年度の新入生は88名3学級、2年生91名3学級、3年生82名3学級、昼の全校生徒は261名9学級になりました。また、文花中学校は都内でも8校しかない夜間学級がある中学校です。夜間学級には新入生5名、新入生を含めた在籍生徒24名、昼と夜を合わせた文花中学校全体では285名で新学期がスタートしました。

4月9日の入学式には多くのご来賓・保護者の方にご参列いただきました。改めて地域・保護者の皆様のご協力・ご支援を強く感じました。また、入学式では、曳舟小学校出身の代表生徒が新入生を代表して「自分でできることを一つ一つ増やしていくこと」「友達と関わり合い視野を広げていくこと」という2つの目標と、「周囲の方々への感謝を忘れずに自立し成長していきたい」と誓いの言葉を話してくれました。教職員一同、生徒の皆さん、保護者・地域の皆様と力を合わせ、チーム文花中としてお子様の成長を支える努力してまいります。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力を引き続きお願いいたします。

入学式の式辞では、2つのことを話しました。1つは、「人は環境で育つ、その環境は人がつくる」という文花中学校が大切にしているスローガンとその意味です。もう1つは中学校の三年間は小学生が高校生になる三年間で、卒業するときは将来の職業生活を見据えて、自分自身を見つめ、いろいろなことにチャレンジし、力を伸ばしてほしいと話しました。



学校目標・育てたい生徒像・目指す学校像

○学校目標

『チーム文花中として、生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばし、社会に貢献できる生徒を育む学校』を目指す。

○育てたい生徒像

- ・人権を尊重し、自他を大切にしている生徒
- ・毎日の授業や家庭学習を大切に、自立した学習者として自ら学び・考える生徒
- ・心身共に健康で、文武両道を目指し、何事にも粘り強く取り組む生徒
- ・国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒



○目指す学校像

- ・「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力や学ぶ力が身に付く学校
- ・ICT機器の効果的な活用とアナログとのベストマッチによる学びを推進する学校
- ・人権を尊重し、夜間学級との交流など、多様な文化の理解を積極的に推進する学校
- ・チーム文花中として、学校・家庭・地域が力を合わせて共に歩む学校

特色ある学校づくり推進校

本校は、今年度墨田区教育委員会から「特色ある学校づくり推進校」のご指定をいただき、1年間研究を行うことになりました。研究主題は「主体的に学びに向かう生徒の育成 ～AARサイクルによる学習プロセスを通して～」です。

AARサイクルとは、OECDが2019年に「OECDラーニング・コンパス2030」という名称で発表した一連のレポートで提唱したもので、「Anticipation（見通し）」「Action（行動）」「Reflection（振り返り）」の頭文字を取った学習プロセスのことです。このレポートでAARサイクルは「学習者が継続的に思考を改善したり、意図的かつ責任ある形で行動することができるような反復的な学習プロセス」と説明されています。このサイクルを通して、学習者は理解を深めたり、視野を広げることができます（「OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来/白井俊/ミネルヴァ書房」より）。本校ではこの学習サイクルを通して生徒の学ぶ力をより大きく高められるように研究を進めていきます。

